
















安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。	 禁止行為
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり物的損害を与えたりすることがあります。	 指示を守る

<div> 警告</div>	<div> 注意</div>
<div><div></div><div>本製品を分解したり改造しない 事故や火災、感電の原因となります。</div></div> <div><div></div><div>本製品を濡らしたり、水気の多い場所 で使わない 液体が本製品にかけると、発火・感電の原因 となります。</div></div> <div><div></div><div>電源アダプタをAC100V(50/60Hz)以外 のコンセントにつながらない 発火、発熱の恐れがあります。</div></div>	<div><div></div><div>正規の接続をする 誤った接続をすると、故障、火災、事故の原因 となることがあります。</div></div> <div><div></div><div>ケーブルを引っ張らない ケーブルを引っ張るとコードが傷つき、故障、 発火、感電の原因となることがあります。</div></div> <div><div></div><div>濡れた手でさわらない 感電の原因となることがあります。</div></div> <div><div></div><div>配線は電源を切ってから行う 電源を入れたまま配線すると、感電の原因とな ることがあります。</div></div> <div><div></div><div>電源プラグ部やコンセント部の掃除をする ほこりがたまと火災の原因となることがあり ます。</div></div> <div><div></div><div>長期間使用しない場合の注意 電源スイッチを切り、電源アダプタをコンセント から抜いてください。</div></div>

お問い合わせ

キコエテック合同会社
E-mail: support@kicoetech.com
Tel: 070-4377-9535

保証書			キコエテック合同会社	
製品名	FFS-KC01		ご購入日	
保証期間	ご購入日から 1 年間		販売店	
お客様	お名前	様		
	ご住所			
	TEL			

((kicoeri))

取扱説明書

パーティション取付型双方向会話アシストシステム

FFS-KC01

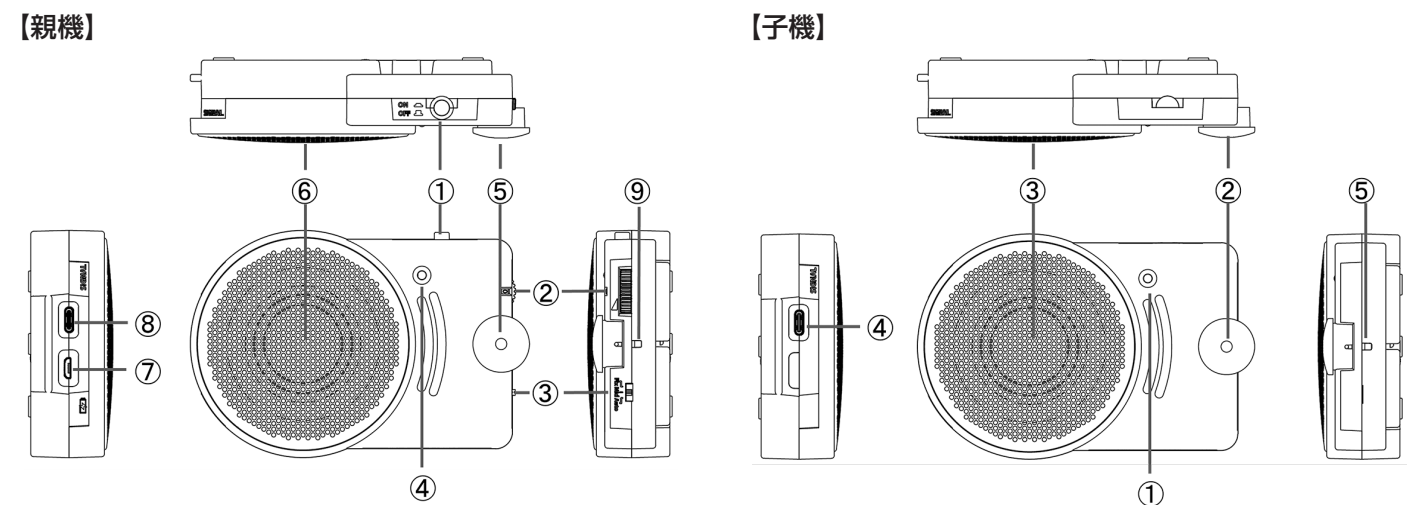
概要

kicoeri (キコエリ) は、飛沫感染防止用のビニールやアクリルパーティションに手軽に取り付けられる双方向会話アシストシステムです。大声を出さなくてもマスク・パーティション越しの聞き取りづらい会話が聞き取りやすくなります。

構成部品

本体(親機・子機)	1
接続ケーブル(type-C端子 USB2.0準拠USBケーブル)	1
電源ケーブル(Micro-B、type-A端子 USBケーブル)	1
電源アダプタ	1

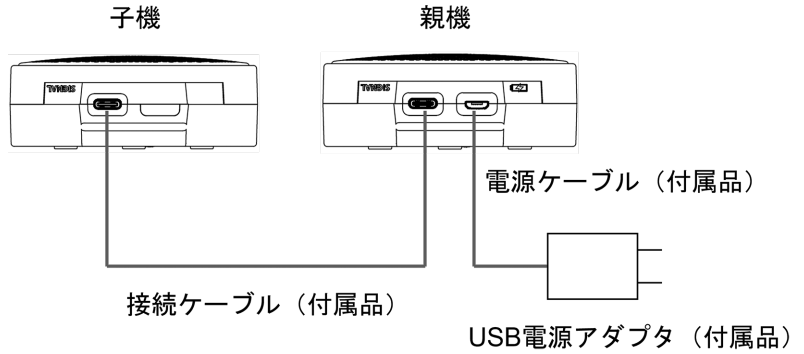
各部の名称



- ①電源スイッチ
押すと電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。
 - ②音量調節ダイヤル
スピーカーから鳴る音量を調節するダイヤルです。数字が大きいほど音が大きくなります。
 - ③音量制御モード切替スイッチ
Fix, Mid, Autoの3種類のモードを選択します。
 - ④電源表示灯
電源が供給されると点灯します。
 - ⑤マイク
音声を収音します。収音した音声は子機のスピーカーから出力されます。
 - ⑥スピーカー
子機マイクで収音された音声が出力されます。
 - ⑦電源入力端子
付属の電源ケーブルを接続します。
 - ⑧子機接続端子
付属の接続ケーブルを用いて子機と接続します。
 - ⑨ストラップホール
必要に応じて落下防止用の紐を取り付けるためにご使用いただけます。
 - ①電源表示灯
電源が供給されると点灯します。
 - ②マイク
音声を収音します。収音した音声は親機のスピーカーから出力されます。
 - ③スピーカー
親機マイクで収音された音声が出力されます。
 - ④親機接続端子
付属の接続ケーブルを用いて親機と接続します。
 - ⑤ストラップホール
必要に応じて落下防止用の紐を取り付けるためにご使用いただけます。

接続方法

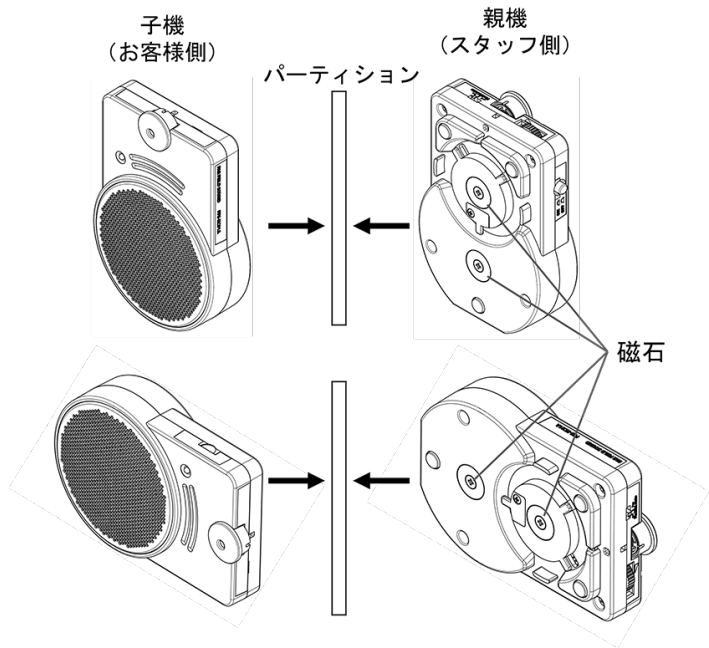
- ①電源ケーブルを接続します
- ②親子接続ケーブルを接続します。



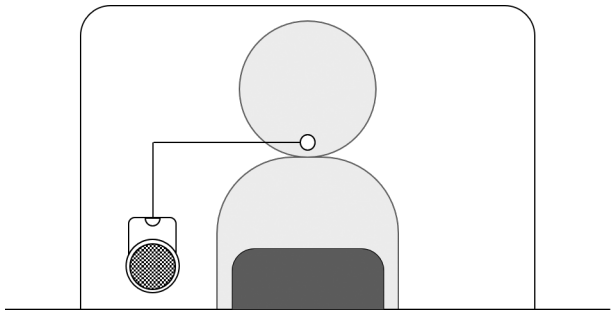
※接続ケーブルはUSB2.0準拠のtype-C端子のUSBケーブルです。
※電源ケーブルはMicro-B、type-A端子のUSBケーブルです。給電のためだけに用いており信号線は使用していません。

設置方法

ケーブル接続後、親機・子機後面の磁石でパーティションを挟んで取り付けてください。
取り付け可能なパーティションの厚さは約5mm以下です。



マイクは本体から取り外してマイクケーブルを伸ばして使用することも可能です。マイク後面の磁石でパーティションを挟んで取り付けることが可能です。視界を遮りたくない場合には、マイクは口の正面近くに取り付け、親機子機本体を左右や下部にずらして設置することができます。



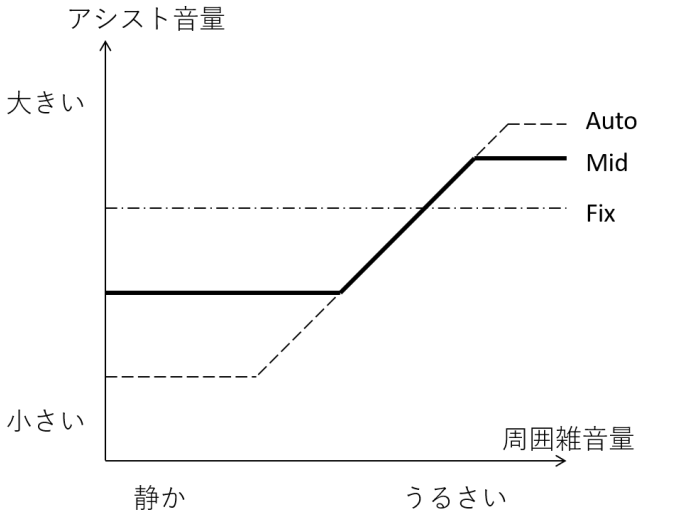
使用方法

- ①音量制御モードを Fix、Mid、Autoの3種類から選択します。
- ②電源を入れます。数秒話すとスピーカーからアシスト音声が入聞こえてきます（フェードイン）。
- ③音量調節ダイヤルで音量を調整します。

音量制御モード

周囲の雑音の大きさによって会話のアシスト音量を自動制御する方法について、次の3つのモードから選択できます（右図）。

- Fix 一定の音量で会話をアシストします。
- Mid 周囲の雑音の大きさに応じて会話のアシスト音量が自動制御されます。雑音が大きくなるさい時にはアシスト音量が大きくなり、雑音が小さく静かな時にはアシスト音量が小さくなります。
- Auto 自動制御によるアシスト音量の変化量がMidよりも大きくなります。周囲が静かな時のアシスト音量はMidよりも小さく、うるさい時のアシスト音量はMidよりも大きくなります。



通常の多くの環境では、まずは音量制御モードはMid、音量調節ダイヤルは6程度で使用を開始し、好みに応じて音量調節ダイヤルで全体アシスト音量を調整することを推奨します。

静かな時とうるさい時の雑音音量の変化が大きく、うるさい時のアシスト音量は適当なのに静かな時には大きすぎると感じたり、静かな時のアシスト音量は適当なのにうるさい時には小さくて聞こえにくいと感じる場合は、Autoをお試しください。

静かな時でも常にアシスト音量を大きくしたい必要がある場合は、Fixモードでご使用いただき、音量調節ダイヤルだけでアシスト音量を調整をしていただくことも可能です。

音量調節ダイヤル

各音量制御モードにおける全体的なアシスト音量を調節することができます。右図のグラフの全体を上下に移動させる調節をすることになります。
音量を大きくしすぎると、アシスト音声が入歪みかえって聞こえづらくなることがあります。歪みが出る音量の上限値は、本体の設置環境（パーティションの厚さ、大きさ、本機の取付位置等）によって異なります。

保証規定

1. 保証内容

取扱説明書にしたがった正常な使用状態で故障した場合、保証書をご提示いただくことにより記載された保証期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2. 保証対象外

- ① 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- ② 保証書のご提示がいただけない場合
- ③ 保証書に所定事項が記入されていない場合
- ④ お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
- ⑤ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
- ⑥ 取扱説明書に記載の使用方法または注意書きなどに反するお取り扱いに起因する故障および損傷
- ⑦ その他弊社が補償内容の対象外と判断した場合

3. 免責

本製品の故障に起因する付属的損害についての損害賠償責任を負いません。

4. 補修有効範囲

この保証書は日本国内においてのみ有効です。

⚠ 注意



ケーブルを接続してからパーティションに設置してください

パーティションに設置後にケーブルを取り付けようとすると、ケーブルコネクタを差し込みやすくするために本体をパーティションから浮かせようとしがちです。パーティションから本体を浮かせると、磁力が弱くなり他方が落下してしまいます。ケーブルを接続してからパーティションに設置してください。



設置後に親機、子機の片方だけを手に持って取り外さないでください

片方だけを手に持って取り外すと磁力がなくなり他方が落下します。設置場所を移動するときは、両手で親機・子機を持ち移動させてください。



ビニールパーティションに取り付ける場合はパーティションの強度を確保してください

ビニールの上辺に梁や支持具が無い場合や、あってもその強度が弱い場合、張り合わせたkicoeriの重量によりビニールにたわみが発生する場合があります。そのような場合は梁を取り付けるなど強度を確保してください。